

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 8	
企画名	ポリファーマシー再発を防ぐ！ ―ケア移行時のより良い情報共有―
日時	2017年5月13日（土） 10:30～12:00
会場	第8会場（高松シンボルタワー タワー棟 4F BB スクエア）
企画責任者	山本 祐（自治医科大学地域医療学センター 総合診療部門）
定員	48名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>健康問題のひとつとしてポリファーマシーが注目されつつあり、処方適切化に関する取り組みが様々な場面で行われています。とりわけ、入院を契機に使用中のすべての薬剤が改めて確認され、患者さんとの相談の中で減処方を含む処方介入が行われることは少なくありません。一方で、処方への介入後に再びポリファーマシー状態に至ってしまう方も、現場ではしばしば見受けられます。この際のポリファーマシーが発生する環境要因のひとつに、入院から退院後へとケアの主体が移行する際の情報不足が挙げられています。</p> <p>今回のワークショップでは、現在のケア移行時の情報に不足している項目から「より良い情報提供内容とは？」をディスカッションし、グループワークを通してケア移行後のポリファーマシー再発を防ぐための情報共有フォーマットを作成することを目的としています。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>ポリファーマシーに関するレクチャーを通して知識を深め、グループディスカッションから現状の問題点を考え、グループワークで明日から使える「ケア移行時の情報共有フォーマット」を作成していきます。みなさん、ぜひ一緒に考え、語り、作り上げましょう！</p> <p>&lt;ワークショップの内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. レクチャー ―ポリファーマシーの学びを深める</li><li>2. グループディスカッション① ―この事例の問題点は？</li><li>3. グループディスカッション② ―ケア移行時にはどんな情報が必要か？</li><li>4. グループワーク ―明日から使える「ケア移行時の情報共有フォーマット」を作ろう！</li></ol>	